



～寒さに負けずフィールドに出てみると～



突然ですが、これは何だと思いませんか。

A 古代人の遺跡 B 動物の巣 C 子供の秘密基地
正解は、Cの子供の秘密基地です。1月17日(土)実施の講座

「秘密の基地づくり」で作ったヨシの家です。かまぐらのように中に入ることができます。冬は寒さで家にこもりがちですが、自然はたくさんの遊び場を用意してくれています。

葉が落ちた木々の枝は、鳥たちが子育てを終えた巣などが見つけやすくなっています。

さあ、ゲーム機を置いてコタツからとびだそう！(N)

季節の生き物

冬越し～昆虫たち～

夏、彩湖自然学習センターに来てくれた皆さんは、いろんな種類の昆虫に出会ったはずですが、でも今、センターのまわりをぐるっと見回してみても見当たりません。どこに行ってしまったかと思い、探しに行ってみました。

オオカマキリの卵囊が、ひとつの木に7個もついている木もありました。他にもコマキリ、ハラビロカマキリのものもあります。

エノキの木の下のかれ葉をめくってみるとマルカメムシが仲良く寄り添っています。

また、ゴマダラチョウの幼虫も枯れ葉と同じ色でじっとしています。

マイマイガの卵は、お母さんのガの毛にくるまれてあったかそうです。

他には、クスノキの葉の裏にはアオスジアゲハの蛹、コナラの冬芽にそっくりに体を曲げているカギシロスジアオシヤクの幼虫、等々。

昆虫たちは卵、幼虫、蛹、成虫といろいろな姿で寒い冬を乗り越え、暖かい春を待っているのですね。センターに来て一緒に探しましょう！

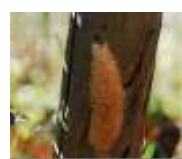
(R)



アオスジアゲハのさなぎ



よりそうマルカメムシ



マイマイガの卵



カギシロスジアオシヤクの幼虫

冬越し～水辺の生きものたち～

今の時期、センターの前にあるミニ彩湖をのぞくと、晴れた日は水がとても澄んでい
ます。しかし、生きものの影はありません。朝は氷が張っていることもあります。こん
なに冷たい水の中で、生きものはどのように冬越しをするのでしょうか？

夏にたくさん見かけたアメリカザリガニはというと、湿った土の中に穴を掘って潜ん
でいます。水温が10℃以下になると冬眠をし始めるのです。

ひなたぼっこをしている様子が見られたクサガメやミシシippアカミミガメも、落ち
葉の下や泥の中で冬眠しています。粘膜や皮膚から酸素を吸収し、呼吸をしているの
で水中でもおぼれることはありません。

モツゴやフナなどの魚たちや、水面をスイスイと動き回っていたアメンボは水草の陰
でじっとしています。ミニ彩湖の周りを飛び交っていたギンヤンマは、ヤゴ（幼虫）
で冬を越します。ヤゴをねらう魚やザリガニ、カエルたちも今はお休み中なので、食べ
られる心配はありません。



冬は他の時期と比べてエサとなる食べ物が、ぐんと減ります。しかし水温が低くなる
と身体の代謝も低下するため、エサをたくさん食べる必要がないのです。どの生きもの
も、じっと水底で暖かくなるのを待ち、春の賑わいに備えています。私たちも、活発
になった生きものたちと出会うのが待ち遠しいですね！（S）

お知らせ

彩湖の講座がテレビで紹介されます。

戸田市広報番組「ふれあい戸田」 春を待つ彩湖を訪れて～冬の彩湖の魅力～

1月7日（水）実施の講座「春の七草がゆ」の様子が紹介されます。下記の日程で放
送されますので、ぜひ御覧ください。

放送日

平成27年2月中の毎週日曜日

AM9:15～

テレビ埼玉

